

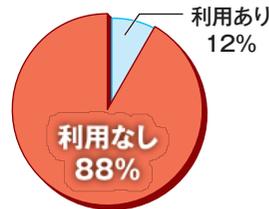
フィルタリングは、有害情報やトラブルからお子さんを守ります。
保護者が責任をもって設定することが大切です。

有害情報を さえぎる フィルタリング・ペアレンタルコントロールの設定

コミュニティサイトを通じて、性犯罪などの被害に遭った18歳未満の子供の約9割がフィルタリングを設定していませんでした。

〔H30年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況〕(警察庁)

フィルタリングをしていれば被害を防げた可能性が高い!



フィルタリングの設定方法 (大手携帯電話事業者の場合)

■ 新規契約・機種変更等の場合

青少年インターネット環境整備法に基づき、携帯電話事業者には、使用者の年齢を確認することや、フィルタリングの必要性・内容を保護者と使用する青少年又は子どもに説明することが義務づけられています。フィルタリングに関する説明を受けたら、その場で設定してもらいましょう。なお、設定しない場合は、「いしかわ子ども総合条例」に基づき、設定しない理由を記した書面等を提出しなければなりません。

■ すでにお子さんがスマートフォンを利用している場合

下のQRコードから、携帯電話事業者の「あんしんフィルター」に接続し、手順に沿って設定してください。



あんしんフィルター
for docomo



あんしんフィルター
for au



あんしんフィルター
for SoftBank

上記以外の事業者については、サービス内容などが異なりますので、それぞれの事業者にお問い合わせください。

※フィルタリングの情報は、令和元年11月現在のものです。

家庭で 考える 親子で話し合いましょう!

- ・ 子供の発達段階に応じたルールについて
- ・ フィルタリングを設定する必要性について
- ・ スマホの使い方やマナーについて(時間・場所・言葉づかい等)

普段から話し合う習慣を!



中学校3年生の保護者のみなさまへ

親子のホットとネット大作戦

お子さんに
スマートフォンを持たせる
その前に

親の責任・行動で安心をゲット!
子供を守る4つの行動

子供を
見る

危険性を
知る

有害情報を
さえぎる

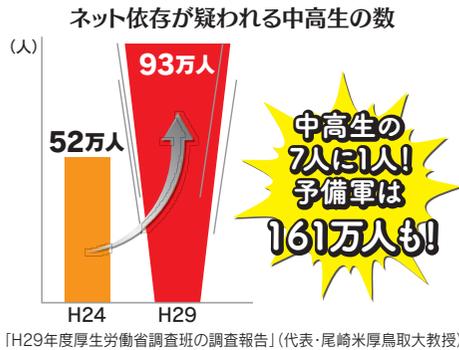
家庭で
考える

石川県教育委員会

●「親子のホットとネット大作戦パンフレット」は、石川県のホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/hottonetto/hottonetto.html>

インターネットに潜む危険性から子供たちを守るのは“親”です。

子供を見る ストップ!ネット依存



ゲーム障害が疾病に ギャンブル依存と同じ扱いに!

ネット依存の9割がゲーム障害の疑い!

WHO(世界保健機関)が、『ゲーム障害』を国際疾病分類で、依存症として認定しました。

『ゲーム障害』は、ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活(人間関係・健康等)に支障が出る病気です。

ゲーム障害

スマホのオンラインゲームをやめられず1日に何時間も続け、家族に、怒鳴ったり、暴力をふるったりする例が増えています。海外では、オンラインゲームをやり続け、死亡した人も!

オンラインゲームは、常に内容が更新されるため、ゲームに終わりがありません。また、課金することで効率よくプレーすることができ、ゲーム上でつながった人から認められることで欲求が満たされ、依存を深めていくことにつながります。

ゲーム障害の人の行動傾向

国立病院機構 久里浜医療センター
2016・2017受診者調査(120人)

- ◎ 朝起きられない 76%
- ◎ 昼夜逆転 60%
- ◎ 欠席・欠勤 59%
- ◎ 物にあたる・壊す 51%
- ◎ 家族に暴力 27%

国立病院機構 久里浜医療センター

危険性を知る 知らないうちに犯罪に巻き込まれたり軽い気持ちで始めたことで加害者になったりすることも

自画撮り被害

ネットを通じて知り合った人を信用して、自分の裸や下着姿の写真をSNS等で送信してしまい、後日、写真をもとに脅されるといった被害も増えています。



ネットに出回った情報は、「デジタルタトゥー」と称されるほど、削除が難しく永久に残る可能性があります!

個人情報流出

ネット上に安易に写真の投稿や、書き込みをすると個人が特定されたり、不特定多数の人に知れ渡ったりして、悪用される場合があります。



ネットいじめ

ネット上の文字だけの会話では、相手に気持ちが正確に伝わらず誤解を招き、思わぬトラブルの引き金となる場合があります。また、心ない言葉が相手を傷つけたり、「いじめ」につながったりすることもあります。



ながらスマホ

スマホを操作しながら歩く・自転車に乗るなどの「ながらスマホ」により、他人にケガをさせたり、尊い命を奪ってしまったりして、高額な損害賠償を請求される重大な事故も発生しています。



不適切動画の投稿

アルバイトの人がふざけた動画をSNSに投稿したことで、店の信用が傷つけられ閉店に追い込まれる(バイトテロ)などし、店から損害賠償を請求されたり、ネットの「炎上」により動画が拡散され、投稿者やその家族が多くの人から非難を受けたりすることがあります。



困ったことがあったら... 相談窓口

ネット上の犯罪行為を
発見した・犯罪に巻き込まれた

石川県警本部相談ダイヤル

#9110

ネット上のいじめにあった

24時間子どもSOS相談テレホン

076-298-1699

ワンクリックの不当請求や
架空請求を受けた

石川県消費生活支援センター

076-267-6110

ネット依存症など
心の問題がある

石川県こころの健康センター

076-238-5750